

甲南大学法科大学院入学試験問題について

－ 2016 年一般入学試験（後期募集） －

試験科目：商法 （担当：法科大学院 教授 山田 純子）

第 1 出題趣旨

株式会社の代表取締役の経営判断の誤りにより当該株式会社が倒産するに至った場合において、当該株式会社の債権者のうち、当該株式会社の倒産により債権の弁済を受けることができなくなった者が、当該代表取締役および当該株式会社の登記簿上の取締役に対して、どのような責任を追及することができるかについて、会社法上の規律の基礎的な理解を問う問題である。

第 2 採点実感

代表取締役に対する責任追及については、多くの答案が会社法 429 条 1 項に基づく損害賠償請求の可否について論じていたが、要件のあてはめが不十分なものも一定程度見られた。登記簿上の取締役に対する責任追及については、判例法理を踏まえて、会社法 429 条 1 項に基づく損害賠償請求の可否について論じた答案は、多くは見られなかった。

第 3 学習方法

会社法についての基本的知識を正確に理解するため、条文、教科書および判例集を読み込むとともに、短答式問題を解くこと、ならびに、上記の基本的知識を正確に使えるようになるため、簡単な事例問題を解くことを、地道に続けて下さい。

以上